



スマートで活力ある
社会の共創

主要課題 | スマート社会の実現、地域の活性化、
安心・安全で快適なまちづくり



社会・産業の変革を促進し、九州とともに発展します



相島活性化協議会との協業による「Qでんにぎわい創業プロジェクト」
(福岡県新宮町相島)

地場企業として、これからもずっと

九電グループは、九州の地場企業として、地域の持続的な発展が不可欠であると考えています。地域の皆さまや自治体、地場企業等と連携し、九電グループのリソースを活用しながら、地域が抱える課題を解決していくことで、スマートで活力ある社会を共創していきます。

都市開発事業

九電グループは、都市開発・不動産・社会インフラ事業を通じた地域の賑わい創出や交流人口の拡大に取り組んでいます。

空港

福岡・熊本・広島空港の空港運営事業では、施設の拡充や航空ネットワークの充実などを通じて交流人口の拡大を図り、地域の発展・活性化に貢献していきます。

熊本空港では、熊本地震からの創造的復興のシンボルとして、新旅客ターミナルビルを2023年3月に供用開始しました。新旅客ターミナルビルは、搭乗間際までショッピングやグルメを楽しむことができる施設となっています。



熊本空港

物流

各企業による物流効率化の過程で、交通利便性に優れたエリアに立地する最先端の物流施設へのニーズが高まるなか、福岡県糟屋郡、佐賀県三養基郡基山町において、環境や省エネルギーに配慮したマルチテナント型物流施設を開発しています。



ロジポート福岡粕屋 完成イメージ
(2024年8月竣工予定)



佐賀県基山町 物流施設 完成イメージ
(2023年12月竣工予定)

複合施設

福岡市青果市場跡地活用事業では、「ららぽーと福岡」が2022年4月にグランドオープンし、ショッピングやエンターテインメントなど、幅広い世代のお客さまが楽しめる施設となっています。

大分市荷揚町小学校跡地活用事業では、2024年4月の開業に向け、防災拠点や市民コミュニティ施設を備えた公共施設、店舗併設の交流広場などを建設中です。自然エネルギーを積極的に活用し、大分市の脱炭素社会への取組みや地域の持続的発展等に貢献していきます。



ららぽーと福岡



大分市荷揚町小学校跡地活用事業
(施設全景イメージ)

大分市荷揚町小学校跡地活用事業では、官民連携プロジェクトの代表企業として、地域の皆さまのご支援や熱い想いに直に触れる機会が多く、責任の重さ、期待の大きさを、日々感じています。

大分市の持続的発展の「礎」となる施設開発・運営を目指し、関係者一丸となって取り組んでいます。



九州電力
都市開発事業本部
開発推進グループ
よしお たかよし
吉尾 能儀

地域活性化の取組み

ICTサービスの活用

【九電ドローンサービス】

九州電力では、九州全域でドローンを活用した空撮や点検、測量、映像編集などを行う「九電ドローンサービス」を提供しています。農業散布ドローンによる農作業の省力化や、レーザー測量とAIを組み合わせた高精度な画像分析による森林資源管理のサポート等の各種サービスを揃えています。

Topics ドローンを活用した災害時物資輸送実証を実施

2022年12月には、自治体や他企業と連携し、宮崎県延岡市の離島地域において、モバイル通信を用いて目視外の自律飛行を実現するスマートドローン^(※)を活用し、災害時を想定した日用品及び物資輸送(海上飛行)の実証を実施しました。地震等の災害発生に伴い汽船が運行休止した際には、離島地域への物資の海上輸送が困難な状況となります。本実証により、自律飛行によるドローン海上物資輸送を安全かつ安定的に実施できることを確認できました。今後も、ドローンの活用による災害時の課題解決に向けて、取組みを推進していきます。

(※)スマートドローンはKDDIの携帯通信ネットワークに対応したドローンで、KDDIスマートドローン株式会社の登録商標



災害時物資輸送実証でのドローン離陸の様子

【デジタルを活用した地域情報プラットフォーム】

九州電力は、SBIホールディングス(株)及び(株)筑邦銀行と共同で、「(株)まちのわ」を設立し、プレミアム付商品券等を電子化する地域情報プラットフォームを展開しています。これまでに、北は山形・宮城から南は宮崎まで、九州内外の50を超える自治体や商工会等にサービスを提供しています。引き続き、地方創生及び地域活性化を推進します。

地域情報プラットフォームの概要

スマートフォンのアプリを通じ、プレミアム付商品券、地域通貨や地域ポイントを電子化するとともに、地域の情報発信を支援する機能があります。

プレミアム付商品券の電子化では、利用者は申込から決済までの一連の手続きをアプリ上で行うことができ、自治体等においては商品券の発行や精算に必要な手続きが効率化できます。

▼プレミアム付商品券アプリの提供実績(一部)



FUKUOKA NEXT Pay
(福岡県福岡市)

ひなた認証お食事券
(宮崎県)

▼詳細はこちら



Qでんにぎわい創業プロジェクト

九州電力は、継続的に地域の課題解決に貢献していくことを目的に、交流人口の拡大や地場産業振興等をテーマとした「Qでんにぎわい創業プロジェクト」を地域の皆さまと進めています。

【長崎県東彼杵町】

交流人口の拡大や関係・定住人口の創出に向け、「東彼杵ひとこともの公社」との協業により、2021年2月から特産品の「そのぎ茶」に合うお菓子として「くじら最中」「くじら焼」を販売しています。2022年2月には、地域の方と観光客が交流する拠点「uminoわ」をオープンし、そのぎ茶を愉しめるカフェ等が入居しています。



くじら最中



くじら焼

【福岡県新宮町相島】

地域コミュニティの「担い手不足」という課題の解決に向け、協業先の「相島活性化協議会」、新宮町と一体となり、3つの対策(産業創出、暮らし、移住者)に取り組んでいます。産業創出では、基幹産業である漁業の拡大に向け、魚の加工食品事業を展開しており、2023年1月から、玄海灘の旬な魚を使用した棒ずし「福岡・相島名物 海幸棒ずし」を新宮町内等で販売しています。



「福岡・相島名物 海幸棒ずし」のパッケージ・実物